

今月の一言:皆様、冬休みはきちんと休めましたか?人手不足業界から、人が働きたい業界に変える1年にしましょう!

2025年、いよいよ春闘が始まります

春闘とは、さまざまな労働組合が企業に対して賃上げなどの要求や交渉をおこなうこと。1955年頃に始まった春闘は、もとは賃上げがメインの交渉内容でしたが、ストライキなどをおこなう闘争から、賃上げのほか労働条件について労使が交渉する機会という傾向を強めています。

この間、アメリカでは多くの労働者がストライキに立ち上がり、4年で25%の賃上げを勝ち取った労働組合もあります。日本では、先進諸国より長い労働時間に対し規制が求められているにも関わらず、国の労働基準法見直し議論では長時間労働を助長する方向が打ち出されています。賃上げと労働条件の改善を求めて労働組合に結集しましょう!

町場・野丁場群合同・東京土建学習会 & 大忘年会を開催

昨年 12月16日⑨19時から東京土建渋谷支部会館3階で開催。町場群・野丁場群合同会議を兼ねて、各分会8人を参加目標にしたところ、北部・南部分会で達成しました(北部9人・西部・7人・東部5人・南部9人)。ちなみに所属群の内訳は町場群20人、野丁場群10人!

前半は東京土建本部の賃金担当書記を講師に「仲間の声・願いを集め現場を変える組合の役割」を学習。大成建設・清水建設・鹿島建設・大林組などなど、超大手ゼネコンの現場でのパワハラや劣悪な労働環境に対して土建組合として声を上げ、現場を変えさせ、正式に謝罪させた経験を学びました。後半はディーセントワーク推進委員会が提案している「今年一年を振り返って」をテーマに大忘年会を開催。一人一人が学習会の感想なども発表し交流しました。

渋谷区公契約条例が新たなフェーズに入りそうです

公契約条例をご存知ですか?公共事業の最賃に関する条例です。国民の大切な税金を使う公共事業が、そこで働く労働者を大切にしない金額ではだめだ、という声から生まれた公契約条例の制定が、今、日本中に広がっています。実はこの条例、東京23区で最初に制定したのは渋谷区です。しかも当時の東京土建渋谷支部委員長の尽力がかなり深く関わっています。制定以降ずっと、渋谷区の公共事業の最賃を決める審議会に東京土建も参加しています。今年度まで、渋谷区の審議会は傍聴不可となっていました。来年度から傍聴&議事録の公開が実現しそうです。公共事業に関わる方、ぜひ「関心があるぞ」と示すために、各自治体の傍聴に行ってみましょう。

不払相談が急増しています

全国的に不払いが多発しています。東京土建本部に寄せられている、不払いを起こしている(いた)会社情報を共有しますので、取引がある場合には十分注意するよう仲間へ呼びかけてください。なお、こちらの情報のSNSやインターネットへの掲載はご遠慮ください。

大総プロミシング(株)草加市・(株)SAKURAI千代田区・(株)OPIN江戸川区・

(株)久保協工業 練馬区・(株)オフィスネクサス豊島区・田城建設(株)板橋区

お読みになった方はお名前をご記入の上、渋谷支部までご返送ください 氏名: